

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	玉山区街路灯維持管理事業				事業コード	2121
担当課等	所属名	玉山総合事務所 税務住民課		担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 税務住民課	担当者名	小綿孝志	電話番号	113

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	快適な居住環境の実現	コード 3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 1目 総務事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度				⇒ (開始年度 不明年度～)	
事務事業の概要	玉山区内に設置している街路灯の維持管理					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
玉山区内の市道等利用者の通行時における安全を確保するために開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特に無し						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
水銀灯の生産が中止されたため、街路灯が故障した際に修理ではなく、灯具の交換(水銀灯→LED)となる。そのため経費が大幅に増大する。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	玉山区内の市道に設置された市有街路灯	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 街路灯数(玉山区分)	単位	灯
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 街路灯の電気料支出及び修繕などの維持管理事務 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 街路灯の電気料支出及び修繕などの維持管理事務	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 街路灯電気料支出処理回数	単位	回
				B. 街路灯修繕処理回数	単位	回
				C. 街路灯点灯調査回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	玉山区内の市道等利用者の通行時における安全を確保する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 交通事故発生件数(玉山区分) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	件
				B. 刑法犯認知件数(玉山区分) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位:%) 市道除雪率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	街路灯数(玉山区分)	灯	110	110	110	110	110	110	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	街路灯電気料支出処理回数	回	12	12	12	12	12	12	年度
活動 指標B	街路灯修繕処理回数	回	8	1	1	1	1	1	年度
活動 指標C	街路灯点灯調査回数	回	110	1	2	2	2	2	年度
成果 指標A	交通事故発生件数(玉山区分)	件	340	305	300	368	350	350	年度
成果 指標B	刑法犯認知件数(玉山区分)	件	58	51	36	44	40	40	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	586	468	457	457	457	457	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	586	468	457	457	457	457	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	586	468	457	457	457	457	*****
	延べ業務時間数	時間	160	76	70	30	30	30	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	640	304	280	120	120	120	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	1,226	772	737	577	577	577	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:住民の道路の安全通行の確保に寄与している。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	㊦「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☒ 内部管理事務である ☐ その他		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	㊦「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☒ 内部管理事務である ☐ その他		
	理由:		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
㊦「妥当」とする理由: ☐ 法定事務である ☒ その他			
理由:住民の道路通行の安全という意図を細分化することは困難である。			
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:本事務事業では成果指標への積極的な寄与は困難である。		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:道路の安全な通行の確保が困難になり、住民生活に影響が出る。		
有効性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	
	事業名:道路橋梁維持管理事業(1753)、公衆街路灯電気料補助事業、街路灯設置費補助金(1498)		
	※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？		
	統廃合・連携検討 ☐ できる ☒ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ 理由:事務事業の成り立ちや役割が異なるため統廃合は困難である。		
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:現在でも修繕費の確保に非常に苦慮する最低限の事業費であり、これ以上の削減は不可能である。さらに、原油価格の高騰により電気料金の上昇が想定され、毎月の電気料金の支払いさえ滞ることも想定される。		
効率性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:現在でも最低限の業務時間数でありこれ以上の削減は出来ない。		
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること LED灯へ交換することで、修繕の機会を減少させ(灯具寿命が長いため)、電気料金を低減させる(消費電力が少ない)。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) LED灯が水銀灯に比較して高価なため、一時的に多大な費用がかかる。

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)											
	<table><tr><td>① 必要性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>○ 妥当</td><td>● 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり											
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)												
	<table><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3"> → ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携 </td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td></tr></table> ↓ 方向付けの理由と改革改善の内容 消費電力が小さく、灯具寿命の長いLEDへ設置変更することにより、電気料金や修繕費の低減化が見込まれることから、配当予算を踏まえ、着実に設置変更を進める必要がある。		☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	☐ 廃止	☐ 休止						
☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携											
☐ 廃止	☐ 休止												